

湖山西地区人推協「自治会・会員合同研修会」

～本年度の研修テーマは”認知症”～

6月13日（土）18：00～18：45まで、湖山西地区公民館において、自治会と本協議会の会員及び湖山西地区人権教育推進員（4名）と鳥取市人権教育推進員（4名）の方々にも参加していただき、総数44名による『合同研修会』を開催しました。

本年度の研修テーマとした「認知症」を取り上げ、『“やさしく”の意味～おばあちゃんは認知症だった～』というタイトルのDVDを視聴して学習しました。

日本は2025年に65歳以上の5人に1人が認知症患者になるといわれています。認知症という言葉は知られていても、その多くは「どのように接したらよいか分からない」という戸惑いのイメージが先行し、正しく理解されていない現状があります。

このDVDは、敦賀市で開催された「小中学生の認知症サポーター作文コンテスト」で、最優秀作品に選ばれた小学4年生(当時)・三輪実由さんの『「やさしくする」ということ』という作文を脚色し、ドラマ形式の教育映画に編集されたもので、認知症患者とその家族、そして彼らを取り巻く地域社会、一人ひとりが安心して暮らしていくためにできる工夫とは何かを分かりやすく示唆していく内容となっており、本年度各町内会で開催される小地域懇談会での活用を期待しています。



会長あいさつ

参加された皆さん



DVDを熱心に視聴

DVDを熱心に視聴

